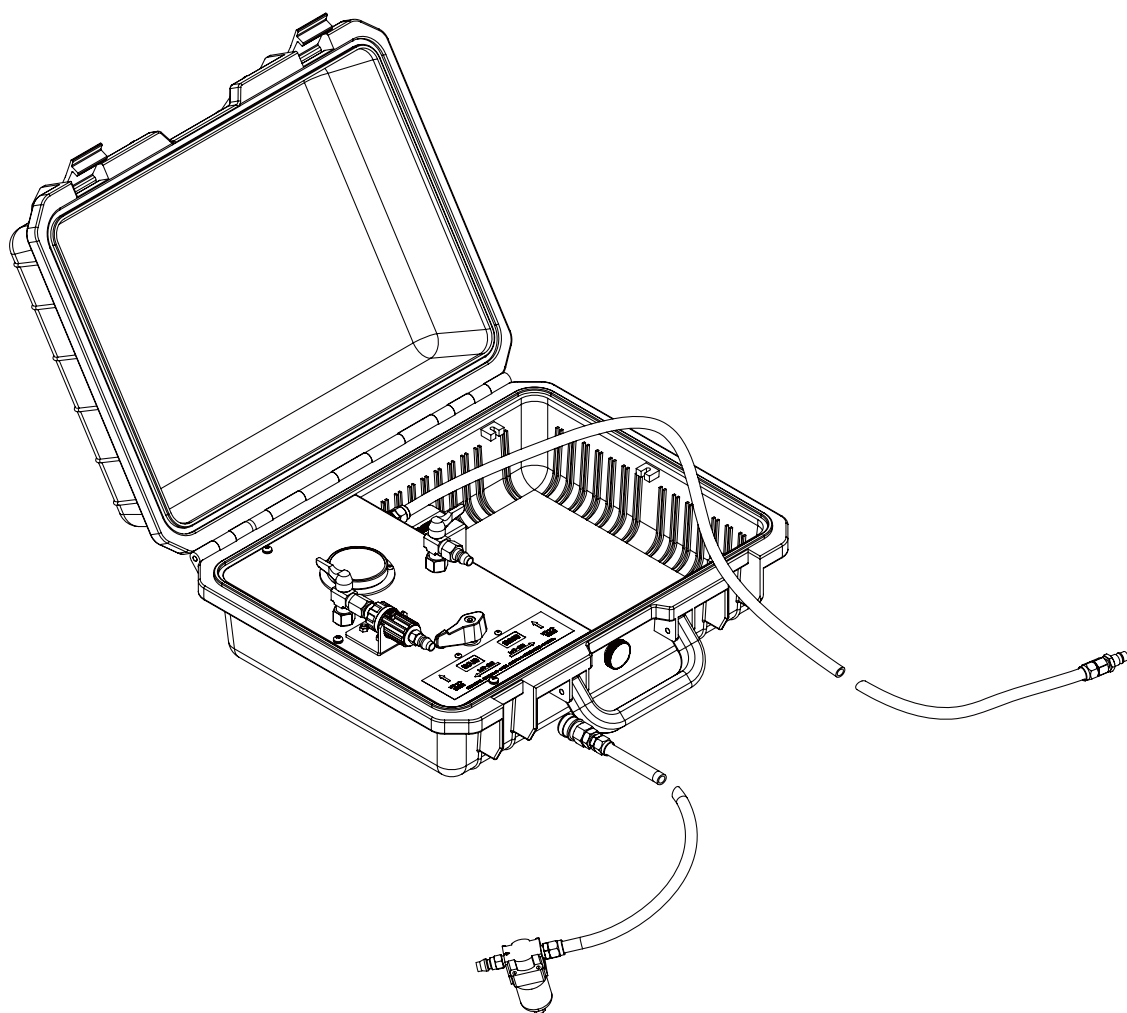


空気注入ホース（排気機能付） Aタイプ

WSEHA10M

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意、本製品の性能、及び仕様、使用方法など十分ご理解の上、正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。



Hoshin

安全にご使用いただくために

このたびは、弊社製品をご購入くださりまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意、本製品の性能、及び仕様、使用方法など十分ご理解の上、正しく安全にご使用ください。




また、この取扱説明書は大切に保管してください。


●空気注入ホース(排気機能付) Aタイプの特長

従来の空気注入ホースでは止水ボールに空気を注入または自然排気のみでしたが、本製品はコンプレッサーの圧縮空気を使って止水ボール内の空気を排気することができます。

●安全に使用するための表示

使用、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書を読み、次の表示の意味をよくご理解の上、使用してください。

表示	表示の意味
 危険	誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重症を負う又は、負う可能性が極めて高いことのご注意。
 警告	誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重症を負う可能性があることのご注意。
 注意	誤った取扱いをした時に、使用者が重症を負うか、又は物的損害のみが生じる可能性があることのご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

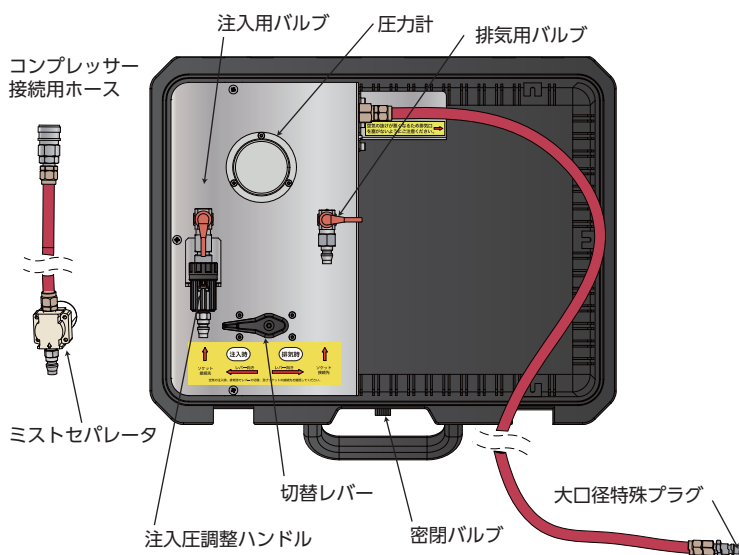
●使用上の注意

警告

- ・使用方法に記載されている圧力を超えて使用しないでください。
- ・止水ボールへの空気の注入、排気以外の用途で使用しないでください。
- ・空気の注入、排気を切り替える際はカプラ接続先、及び、レバーの向きをしっかりと確認してください。
- ・周囲温度は、0～60℃(凍結なきこと)の範囲で使用してください。
- ・コンプレッサーの性能によって、止水ボール内の空気を完全に排気できない場合があります。特に止水ボールロングタイプ1000-2400についてはある程度空気が残ります。
- ・圧力計や精密機器を使用しておりますので、本製品を水に浸けたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・ホースの接続や取り外しは、ホース内の圧力を全て抜いてから行ってください。
- ・止水ボールに空気を注入している際は常に圧力計を監視してください。
- ・分解したり、部品を取り外して、他の機器に使用しないでください。
- ・改造は絶対に行わないでください。

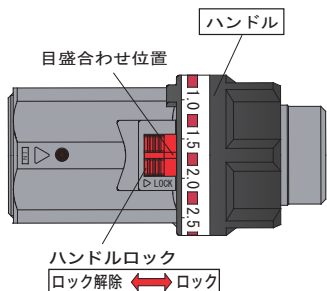
仕様

●空気注入ホース(排気機能付) Aタイプ各部の名称と機能



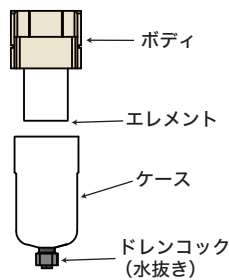
- ・注入圧調整ハンドル : 注入圧を調整します。
- ・注入用バルブ : 止水ボールに空気を入れる際に使用します。(通常は閉じた状態にしてください。)
- ・切替レバー : 注入、排気を切り替えるためのレバーです。
※排気時以外は注入側に向けてください。
- ・圧力計 : 止水ボール内の圧力を表示します。
- ・大口径特殊プラグ : 止水ボールとの接続に使用します。
- ・排気用バルブ : 止水ボールから空気を抜く際に使用します。(通常は閉じた状態にしてください。)
- ・接続用ホース : コンプレッサーと本製品の接続に使用します。
- ・ミストセパレータ : コンプレッサー等から送られてくる圧縮空気に含まれる塵や水分を除去します。
- ・密閉バルブ : フタが開けにくいときに密閉バルブを開く(OFFEN方向に回す)ことで開けやすくなります。(フタを開けた後は閉じてください。)

●注入圧調整ハンドルの各部名称と仕様



型 式	HSR 0.1-0.3A
配管接続口	Rc1/4(PT1/4)
使用流体	空気
周囲温度	°C 0~60 (凍結なきこと)
製品質量	kg 0.08

●ミストセパレータの各部名称と仕様



型 式	AFM-20
配管接続口	Rc1/4(PT1/4)
使用流体	空気
周囲温度	°C 0~60 (凍結なきこと)
製品質量	kg 0.44
ドレン貯蓄量	cm³ 8

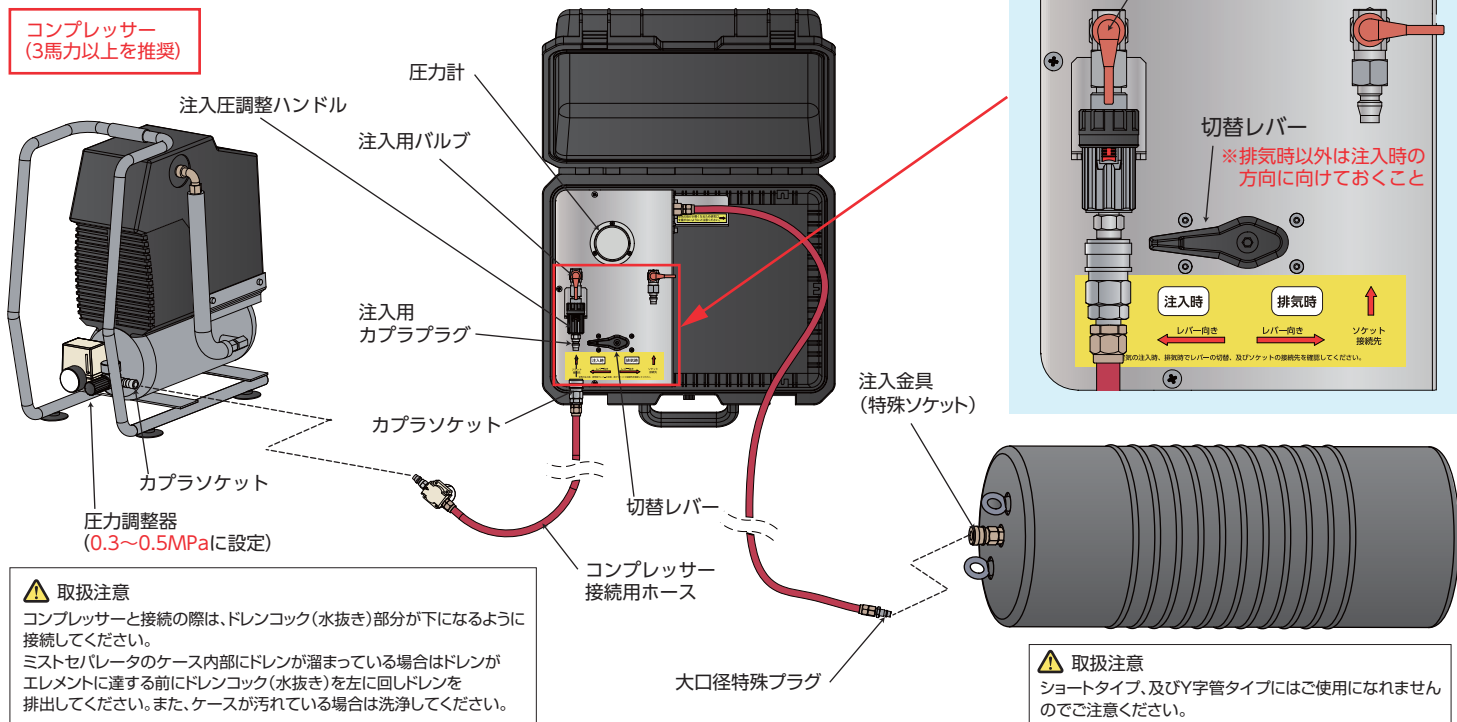
使用方法

●空気注入時接続方法

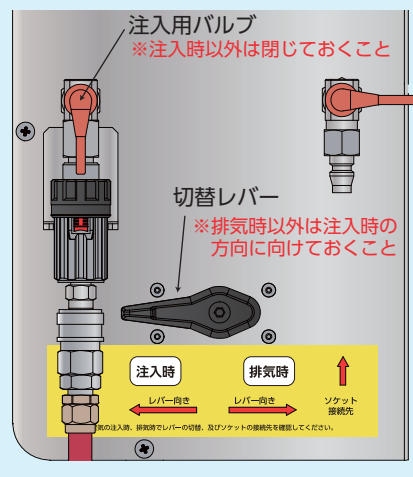
空気注入時

- 1.切替レバーが注入側(左側)になっているか、注入用バルブが閉じているか確認し、コンプレッサー接続用ホースを使用して注入用カプラプラグとコンプレッサーを接続します。**※コンプレッサーはハイカプラに対応したソケットがついてるものをご使用ください。**
 - 2.コンプレッサーの圧力調整器を **0.3~0.5MPa** の間に設定します。
 - 3.注入圧調整ハンドルを止水ボールの指定注入圧(本体付属の赤色のプレートに記載)に設定します。
 - 4.止水ボールと大口径特殊プラグを接続します。
 - 5.注入用バルブを開いて、圧力計を確認しながら止水ボールの指定注入圧まで空気を入れます。
 - 6.指定の注入圧まで空気が入ったら注入用バルブを閉じます。(切替レバーはそのまま)
- ※止水ボールに空気を注入している際は、常に圧力計を監視してください。**
※空気注入ホースに異常がある場合は使用しないでください。
※空気を入れすぎると止水ボールがパンクします。大変危険ですのでご注意ください。

コンプレッサー
(3馬力以上を推奨)



カプラ接続先拡大図 ※注入時



⚠ 取扱注意

コンプレッサーと接続の際は、ドレンコック(水抜き)部分が下になるように接続してください。
 ミストセパレータのケース内部にドレンが溜まっている場合はドレンがエレメントに達する前にドレンコック(水抜き)を左に回しドレンを排出してください。また、ケースが汚れている場合は洗浄してください。

⚠ 取扱注意

ショートタイプ、及びY字管タイプにはご使用になれませんのでご注意ください。

●注入圧調整ハンドルの調整方法

- 1.ハンドルロック(ハンドルと逆方向に引き)を解除し、圧力を上げる場合はハンドルを(図A)H方向に回転させます。

圧力を下げる場合にはハンドルを(図A)L方向に回転させます。

※注入圧調整ハンドルに増圧機能はありません。

出力側の圧力は入力側の圧力以上には上がりませんので、ご注意ください。

- 2.圧力を止水ボールの指定注入圧に設定したい場合は、ハンドル側面に表示された目盛の数値(図B)を参照して、設定したい圧力の数値を目盛合わせ位置

(ハンドルロック中心の溝)に合うようにハンドルを調整してください。

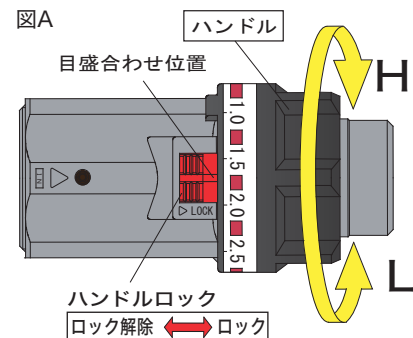
指定注入圧にセットしハンドルロックをハンドル方向に押し込みロックしてください。

※目盛の数値は目安です。注入圧は必ず圧力計で確認してください。

※コンプレッサーや使用環境等により設定した注入圧まで入らない場合があります。

その場合はハンドルをH方向にすこし回転させ調整してください。

※ハンドルロックは簡易ロックです。ロック状態でもハンドルを強く回すとロックが外れハンドルが回る場合がありますのでご注意ください。



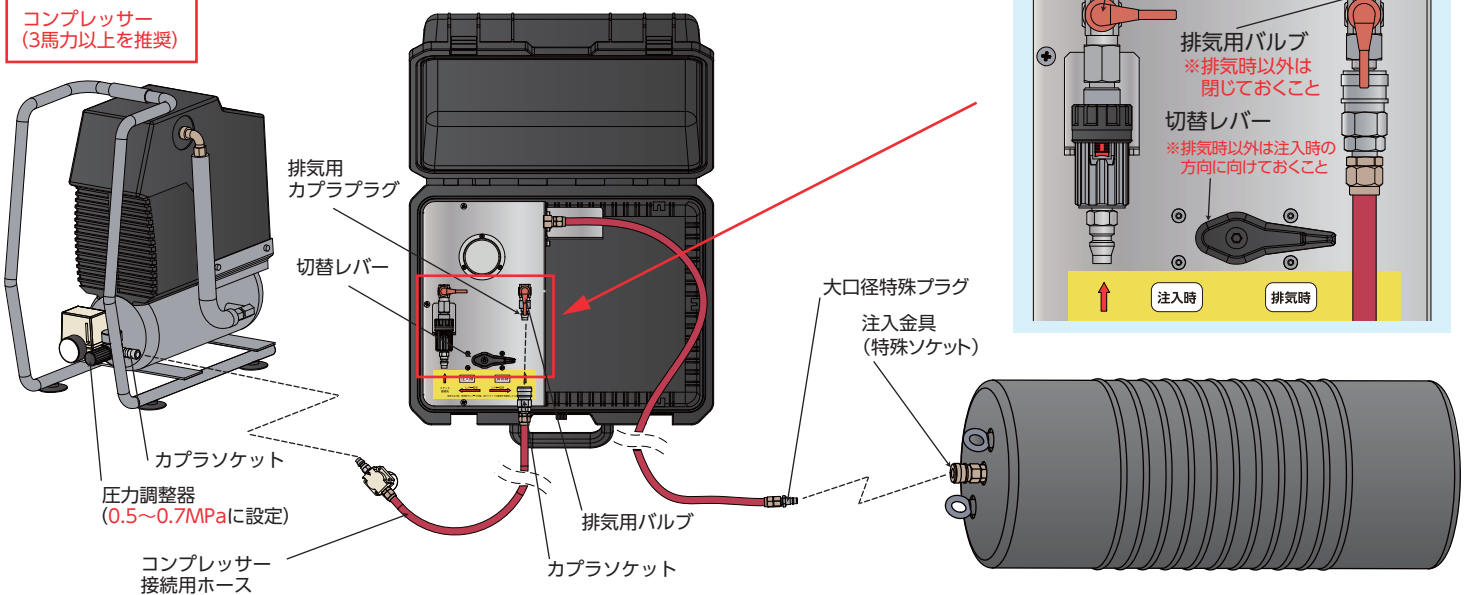
図B	本体空気注入圧 (MPa)	注入圧調整ハンドル 数値目安
	0.25	2.5
	0.15	1.5
	0.10	1.0

●空気排気時接続方法

空気排気時

- 1.切替レバーが注入側(左側)になっているか、注入用バルブ・排気用バルブが閉じているか確認し、コンプレッサー接続用ホースを使用して排気用カプラプラグとコンプレッサーを接続します。**※コンプレッサーはハイカプラに対応したソケットがついているものをご使用ください。**
- 2.コンプレッサーの圧力調整器を **0.5~0.7MPa** の間に設定します。
- 3.止水ボールと大口径特殊プラグを接続します。
- 4.切替レバーを排気側(右側)に向け、排気用バルブを開いて排気を開始します。
- 5.任意のところまで排気ができたら切替レバーを注入側(左側)に戻して排気用バルブを閉じます。

※空気注入ホースに異常がある場合は使用しないでください。
※排気量はコンプレッサーの性能や使用状況により変わります。



保守点検



警告

- ・点検やメンテナンス、接続や取り外しの際は、ホース内の圧力を全て抜いてから行ってください。
- ・直射日光の当たる場所や、高温、多湿、塵や埃の多い場所、振動が伝わる場所での保管はさけてください。

【保守・点検項目】

空気注入ホース(排気機能付)Aタイプ全箇所

- ◆各部にひび割れや破損、異常等がないか確認する。
- ◆汚れている箇所があれば濡れ雑巾等で拭き取ってください。化学薬品等はホースや各 부품の破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ◆空気を注入したとき、各部から空気漏れがないか確認する。

ミストセパレーター

- ◆ドレンが溜まった際は、水位がエレメントに達する前にドレンコックを左に回して排出してください。溜まったままの状態で使用されますと、注入圧調整ハンドルの機能に支障をきたす場合があります。
- ◆ケースが汚れている場合には新しいケースに交換または洗浄をしてください。洗浄する場合はケースの破損の原因となるため家庭用の中性洗剤のみを使用してください。
- ◆使用開始1年、またはエレメントに劣化が見られる、または破損がある場合はエレメントを交換してください。
※エレメントの破損は注入圧調整ハンドルや圧力計の故障、破損の原因となります。

注入圧調整ハンドル

- ◆ハンドルを回し圧力がスムーズに変化し所定の圧力で止まることを確認する。
- ◆ハンドルロックをロック状態にした時に、ハンドルが容易に回らないことを確認する。

圧力計

- ◆圧力計に水が入っていないか確認する。(入っている場合、圧力計が壊れる可能性がありますのでご連絡ください)
- ◆圧力計は精密機器ですので、少なくとも2年に1回は校正してください。

【問い合わせ先】

株式会社 ホーシン

〒571-0017 大阪府門真市四宮3-10-34 TEL.072-885-5433 FAX.072-884-3953

本書の内容及び仕様は、予告なしに変更することがあります。ご了承ください。